

Splunk・ThousandEyes・AppDynamicsによる 統合監視でオブザーバビリティを実現



システム監視運用で、このような課題はありませんか？

原因特定と課題解決の停滞

複雑なクラウドネイティブ環境

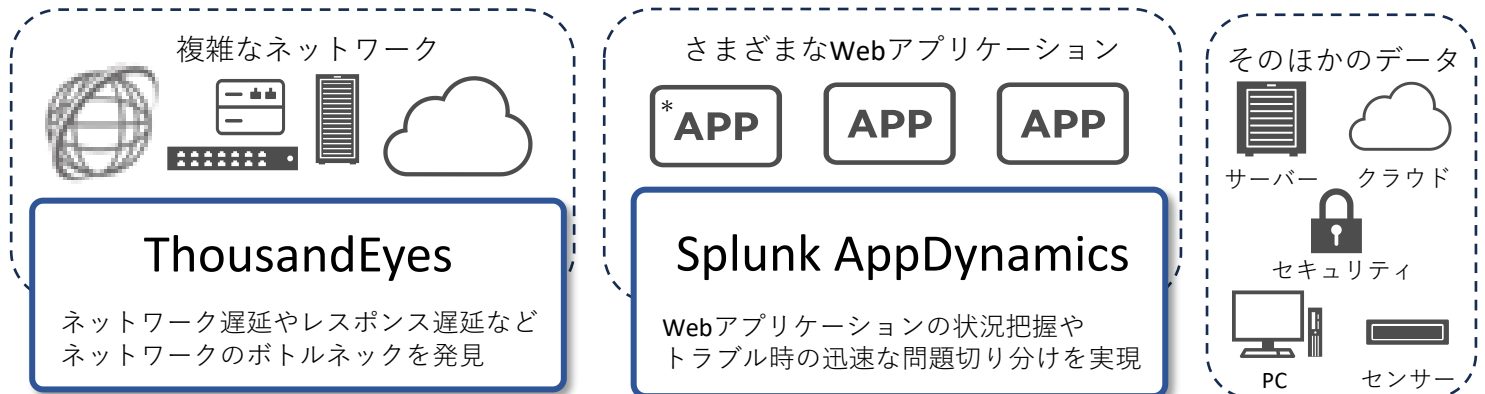
データソースのサイロ化



オブザーバビリティによる改善

業務全体をエンドツーエンドで可視化することで、**プロアクティブ**に障害を検知

*アプリケーション



監視データをSplunkに統合

ユーザーより早く異常に
気付くことが可能

ダッシュボードでまとめて
可視化し、問題の特定が可能

Splunk

さまざまなデータを収集・分析し、障害原因の特定を支援。
セキュリティ、*IoT、BIなど幅広い用途で利用可能。

*IoT…Internet of Things BI…Business Intelligence

1.検知

問題が起きていないか？

対処

2.問題箇所特定

どこで問題が起きたのか？

対処

3.根本原因究明

なぜ問題が起きたのか？

根本解決

インフラからアプリケーションまでエンドツーエンドの可視化を実現



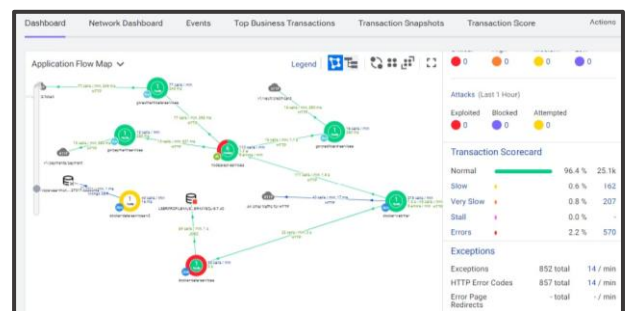
Splunk Observability Cloudは、マルチクラウドやコンテナ、サーバーレスのインフラ監視から、複雑なマイクロサービスのアプリケーション監視までエンドツーエンドの可視化を実現し、MTTRの短縮、パフォーマンスの最大化を実現します。

ネットワークの遅延箇所を一目で把握



ThousandEyesは自社ネットワーク、インターネット網の稼働状況をマルチレイヤで監視・可視化します。これにより、ネットワーク経路内の遅延箇所を迅速に特定することができます。

アプリケーションの障害箇所を一目で把握



AppDynamicsは、アプリケーションの全体的な監視を行い、障害の影響箇所を容易に特定できます。自動的に生成されるフローマップで監視対象を視覚的に確認することができます。

システム全体を俯瞰して障害箇所を容易に特定



ThousandEyesやAppDynamicsのデータをSplunkに取り込み、ダッシュボードにて可視化します。これにより、システムに障害が発生した際、障害がネットワークとアプリケーションのどちらに起因するものを迅速に特定することが可能となります。より詳細な情報が必要な場合はThousandEyes、AppDynamicsのダッシュボードに移動することもできます。

※本リーフレット中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。 ※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記しておりません。 ※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。 ※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。 ※本リーフレット中の情報は、作成時点のものです。

株式会社 日立ソリューションズ

www.hitachi-solutions.co.jp

本リーフレット掲載商品・サービスのお問い合わせ先

<https://www.hitachi-solutions.co.jp/inquiry/products/form/?id=observability>

